

参考資料

平成28年度  
笠間市教育委員会外部評価委員会評価結果  
に対する改善への取組について

平成28年11月  
笠間市教育委員会

平成28年度笠間市教育委員会外部評価委員会評価結果に対する改善への取組について

事業名	外部評価結果	意見・提案事項	改善への取組
図書館サービス事業 (図書館)	現行どおり継続	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地区ごと3館が独自性を出して欲しい。</li> <li>○各図書館が同じ方向を向きすぎず、独自性を出してもよいのではないかとと思う。</li> <li>○今後のアクティブラーニングに対応したレファレンス機能の充実を進める必要があり、課題解決学習に対する的確な指導力の育成も必要。</li> <li>○各館貸出率アップに対しての事業の取組に工夫が見られた。今後は利用者の方へのPRの仕方を考えていただきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○3館の独自性の発揮については、提案の趣旨を踏まえ検討していきます。</li> <li>○レファレンス機能の充実等について、現在でも十分な質・量と考えているが、より一層努力していけるよう検討していきます。</li> <li>○利用者へのPRの仕方につきましては、今年度末に図書館システムの更新を予定しており、図書館のホームページもトップページが加わるなど大幅に刷新され、PR力が增强されるとと思われるため、それらを活用してのPRにも取組んでいきます。</li> </ul>
給食センター管理運営事業 (学校給食センター)	現行どおり継続	<ul style="list-style-type: none"> <li>○マニュアルの策定、見直しを充実させていただきたい。</li> <li>○何か事故が起きた時の危機管理マニュアルの充実や、事故対策シミュレーションの実施は十分であるか再度チェックしたい。</li> <li>○外部発注の物に問題があった時の対応をしっかりとっていただきたい。</li> <li>○危機管理の問題や緊急時対応(補助電源等も含めて)を考える必要がある。</li> <li>○献立には工夫を、特色を出して頂きたいと思います。</li> <li>○「文化の市 笠間」として、食文化でも工夫を凝らし、市内の食材を豊富に使って食を支えていただきたい。</li> <li>○管理面では、衛生管理には十分な配慮をお願いしたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○危機管理マニュアルは平成28年に作成することで作業を進めており、作成後は机上訓練等を行い対応の徹底を図りたいと考えている。また、外部発注(学校へ直接配送される食品)の食品についても本マニュアルで対応するよう検討している。</li> <li>○補助電源等は、建設時に自然災害時の対応施設としての位置付けが無く設置しておりません。今後は、自然災害時の対応施設の位置付けと、電気事業者の事故による停電及び給食センターの設備故障対応を検討していきます。</li> <li>○献立は特色を出せる様に創意工夫をするともに、児童生徒の意見を多く取り入れられるように努めていきます。</li> <li>○衛生管理については、常に感染症や食中毒の危険性があるという想定のもとに管理していきます。</li> </ul>
花によるまちづくり事業 (生涯学習課)	改善し、継続	<ul style="list-style-type: none"> <li>○配布する花の種類について、菊づくりとの連携や、多年草の花の配布による、変化や工夫も必要ではないか。</li> <li>○地域コミュニティの活性化について、花による「街づくり」の意味を再考していただき、これまでの踏襲でなく、大いに改善し笠間のイメージアップに貢献していただきたい。</li> <li>○事業のPRについて、この事業の意義をもっと広報して県内、外に広く伝えていただきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○例年、比較的丈夫で扱いやすいとされるサルビア・マリーゴールドの配布を実施しています。年々花苗の配布を希望する団体が増えている中で、現在配布している2種に新たに菊を付け加えるのは難しいと思われるので、配布する花の種類に関しては、今後、配布を希望する団体にアンケートを取るなどして、意見を伺っていきたく考えている。多年草(宿根草)の配布についても、同じく市民の意見を伺いながら検討していきます。</li> <li>○花苗の配布・花壇作りを通して、新たな地域コミュニティの形成・コミュニティのさらなる充実を図っていただければと考えている。実際に花壇作りが地域住民のコミュニティ作り、多世代間の交流の一環となっている地域も見受けられるので、今後より一層の地域コミュニティの活性化を目指し、模範となるような団体の活動発表の機会を設けるなど、行政としてのサポートを充実させていきたいと考えている。また、例年花壇コンクール優秀団体に対して表彰式を行っているが、表彰式の内容の工夫や、コンクール参加団体の花壇写真のパネル展示等を実施することで、市民・団体の花壇づくりへの積極的な取り組みを支援していきます。</li> <li>○広報誌やホームページを通して、事業内容の積極的な発信に努め、事業の周知を図っていきます。</li> </ul>
かさま国際音楽アカデミー事業 (生涯学習課)	改善し、継続	<ul style="list-style-type: none"> <li>○単に芸術家(演奏家)のためだけの音楽アカデミーにすべきではない。</li> <li>○市民との関わりをいかに増やし、小・中学生や保護者、地域の方に鑑賞してもらえるよう企画すべきである。</li> <li>○ぜひ、市民が参加し、ともに育てていける国際音楽アカデミーにしていただきたい。</li> <li>○小中学生に本物のクラシックを聞かせる機会は今後も継続していただきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○アカデミーは、若手音楽家の育成を目的に実施しているが、アカデミーの開催に併せて、市民が世界トップレベルの講師の演奏を市内で鑑賞できる機会を提供していきます。</li> <li>○「アカデミー友の会」が、ウェルカムパーティーやフェアウェルパーティー、運営ボランティア、広報活動などを行っているが、茨城県との共催となっても、「アカデミー友の会」を存続させることにより、市民の力で運営支援に取り組んでいきます。</li> <li>○期間中に行われるコンサートについては、市内小中学生は無料で鑑賞できるようにしているが、平成28年度はこれに加えて、県内小中学生が親子で無料で楽しめるクラシック入門コンサートを企画している。</li> </ul>

事業名	外部評価結果	意見・提案事項	改善への取組
		<p>○県と連携していく事業にしていくなら「かさま」の独自性を残していく必要がある。</p> <p>○小中音楽祭を実施しているが、その際、受講生またはOB等の演奏を見せてはどうか。本物に触れることは大事だと思うし、笠間市として歴史を重ねてきた事業であるので、小中学生に還元してほしいと考える。</p>	<p>○平成28年度より茨城県との共催となるが、期間中に行われるコンサートの内容については、笠間市で実施してきた公開レッスンやコンサートを継続して行い、広範囲に事業のPRができるよう検討していきます。</p> <p>○アウトリーチなどの手法も含めて、市内の子どもたちに本物の音楽に触れることのできる機会を増やすことができるよう検討していきます。</p>
<p>幼児演劇鑑賞会事業 (友部公民館)</p>	<p>改善し、継続</p>	<p>○良い事業であるので、友部地区だけに限定する現在の事業を継続するのではなく、笠間地区、岩間地区においても実施し、市内の子ども達全員が参加出来る事業に改善すべきである。</p> <p>○もっと市民や幼・小・中学生、高校生の演劇活動を巻き込んで演劇活動を活性化し、3地区で学社連携タイプの事業を展開していただきたい。</p>	<p>○演劇鑑賞会については、幼児教育における重要な役割の一端として一定の評価をいただいているが、地区の偏りがあるため、今後市内の全幼児が均等に鑑賞できる機会を得られるよう、地区の均衡を図る改善を検討していきます。</p> <p>○市内小・中学校等との連携を模索し、特色のある演劇鑑賞ができないか既存事業との統合拡大等を関係の所管課と検討していきます。 既存事業：青少年劇場小公演事業（生涯学習課所管）等</p>
<p>学校体育施設開放事業 (スポーツ振興課)</p>	<p>改善し、継続</p>	<p>○予約状況や予約方法等が市民全体に分かるようにホームページ等を利用して広報を広く周知することを要する。</p> <p>○鍵の貸出し方法について、3地区での取扱が違い1地区だけ予算が発生しているので検討を要する。</p> <p>○使用される方々のマナー向上への働きかけや危機管理について十分対応して欲しい。</p> <p>○廃校施設の有効利用についてアイデアを出していただきたい。</p>	<p>○本事業は、年間を通して定期的に使用する団体を対象としているが、今後は本事業での施設の利用方法等についてホームページ等を利用して広報していきます。</p> <p>○鍵の取扱いについては、学校等関係機関と協議のうえ検討していきます。</p> <p>○マナーの向上については、各団体による代表者会議において周知するとともに、危機管理を含め各団体が「スポーツ傷害保険」に加入していること等を再度確認します。</p> <p>○庁内関係課と協議のうえ検討していきます。</p>
<p>かさま陶芸の里/ハーフマラソン大会事業 (スポーツ振興課)</p>	<p>現行どおり継続</p>	<p>○市民の応援、ボランティアへの参加、広報、他の事業と連携させ市民全体で盛り上げる事業にして息の長い取り組みを希望する。</p> <p>○参加者にも避難場所の周知徹底等、テロ対策等の対応を願う。</p> <p>○大学へ参加者の呼び掛けを積極的に行っていただきたい。</p>	<p>○笠間市民一人一人がボランティアやおもてなしを通して参加する大会とするよう取り組んでいきます。</p> <p>○大会実行委員会や笠間警察署とも協議し、参加者、係員に周知していきます。</p> <p>○日体大をはじめ関東近県の大学に大会ポスター等を送付し、参加啓発していきます。</p>
<p>学力向上支援事業 (学務課)</p>	<p>現行どおり継続</p>	<p>○学力テストの数値だけでは見えない子どもたちの能力向上を評価できる新たな指標を考えてほしい。</p> <p>○近郊の大学との連携を図り、学生ボランティアの活用を考えてほしい。</p> <p>○大変評価される事業であるので、講師の人数を増やす必要があるのではないか。</p> <p>○優秀な講師確保に努めていただきたい。</p>	<p>○全国学力・学習状況調査結果の数値は、子どもたちの能力のほんの一部であることから、新たな指標を示せるよう検討していきます。</p> <p>○近郊の茨城大学や常磐大学等との連携を図り、大学生の活用を検討していきます。</p> <p>○学校の要望に応じて、学力向上支援員を増やすなど、事業拡大を検討していきます。</p> <p>○児童生徒に寄り添ったきめ細やかな指導ができる指導力のある講師の確保に努めていきます。</p>
<p>学校生活支援員活用事業 (学務課)</p>	<p>現行どおり継続</p>	<p>○この事業は緊急に対応すべきであり、事業として重要であるので必要性を強く感じる。</p> <p>○緊急時の対応として機能してきた事業である。しかし、今後は見直し、方向性を見つめながら縮小していくよう努力してほしい。</p> <p>○問題を起こす生徒にやる気と存在感をもたせる指導をしていく必要がある。また、中学生の自尊感情を上げて、自己肯定感を高める指導を学校全体で取り組んでほしい。</p> <p>○この事業を通して、PTA、地域との連携、子どもとの信頼関係の構築が大切である。</p>	<p>○緊急時の対応として継続していくが、学校の状況を正確に把握しながら、今後の見直し、方向性を見定め縮小していくことを検討していきます。</p> <p>○市教育委員会として、学校が自己肯定感を高める指導に取り組むよう指導助言をしていきます。</p> <p>○学校生活支援員を含め、担任、生徒指導主事、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、PTA、民生委員等、学校や地域を取り巻く関係者との連携をより一層強固なものとして、生徒の指導にあたっていきます。</p>